

Sound&Audio Facilities

音響

アナウンス程度の拡声装置と、簡易な録音に対応する機器があります。

音響調整卓

Avid VENUE S6L 32D 112ch-Engine を導入しています。

音響室は客席最後列の下手側、S 列 1 番～17 番の上方にあります。

メインスピーカー

メインスピーカーとして、ADAMSON IS10P を舞台上下手両側の奥壁面に各 1 本設置しています。また、最前列付近の音量補完のため、ADAMSON PC5 を舞台前面に埋設しています。

音響回線

音響回線として、80 回線あり、16 チャンネルのマルチケーブルに振り分けられています。

音響電源

ステージ両側の壁面に、各 1 口 20A タイプのミニ C 型コンセントがあります。また、客席後部の壁面に 20A で平行コンセントが 2 口、舞台下手袖に 30A で C 型コンセントが 1 口あります。

インターカムシステム

Green-Go の有線インターカムシステムを導入しています。

ヒアリングループ

聴覚障害の方向けに、客席内に磁気誘導ループを利用した音声を送出しています。テレコイル機能のついた補聴器をお持ちの方は、テレコイルモードに切り替えることで、雑音の少ない聞き取りやすい音声をお楽しみになれます。

ワイヤレスマイク

TV ホワイトスペース帯及び専用帯の A 型を使用しています(SENNEHEISER 製。受信機:EM9046 送信機:SKM9000 または SK9000)。ハンドワイヤレス・ピンワイヤレスのうち、最大 6 本まで組み合わせて利用できます。A 型ワイヤレスをお持ちになる場合は、必ず特定ラジオマイク運用調整機構への運用連絡をお願いします。

仮設オペレート席の場所

客席椅子番号で、R 列及び S 列の 5 番から 13 番 まで（最大 18 席減数）を基本設置場所としています。この付近で、音響回線及び音響電源等を取り出すことができます。仮設オペレート席設置の際は客席椅子の一部を取り外すことが可能です。取り外す場合は、事前にスタッフへご相談ください。

記録録音

オペレーター本来の拡声業務に支障をきたさない範囲で、公演の内容を記録する目的の録音(記録録音)を承ることが可能です。